

事務事業名		金融対策事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	経済部
総合 計画 体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	営業推進課
	政策	04	商工業の振興	係	商工労政係
	施策	02	商業の振興	内線電話	272
予算 体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	7款	商工費	未計上	
	項	1項	商工費	実施期間	
	目	2目	商工振興費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市内中小企業者	意図（どのような状態にしたいのか）	経営の健全化及び活性化を図る。
現状・課題	リーマンショックによる経営不振から立ち直りが見られる一方、制度資金について、新規設備投資を行う件数が減少している。			
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市商工業振興条例		
事務事業概要	中小企業者への融資に必要な原資の預託を行い、県及び市制度資金の融資あっせん及び保証料の補給を行う。			
令和2年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量	
	融資あっせん			
	認定審査（セーフティネット5号ほか）			
	信用保証協会への保証料の交付			

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	315,000,000	310,000,000
補正・流用等		円		-3,045,000	-	
合計		円	315,000,000	306,955,000	278,500,000	
決算（見込）額 A			円	265,424,842	306,955,000	-
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円	264,634,979	300,000,000	270,000,000
一般財源		円	789,863	6,955,000	8,500,000	
正規職員数		人	0.49	0.49	0.41	
人件費 B		円	3,152,660	3,156,580	2,641,220	
総事業費 A+B		円	268,577,502	310,111,580	281,141,220	
市民1人当たりコスト		円	6,278	7,289	6,632	

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度	令和元年度	令和2年度
融資制度等の審査に要する日数		維持	目標	7日	7日
		成果	7日	7日	-
		維持	目標		
		成果			-
成果指標と目標値を設定した理由	制度の性質上、迅速な審査等の対応が求められるため。				

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	融資制度等により、市内中小企業者の経営の健全化及び活性化を促進する。						

